

入院診療計画書 (TJ(A)療法を受けられる方へ) お名前(ご署名)

病名

目 標	項目	前日入院	治療当日	治療後 1 日目
	患者状態	・化学療法が受けられる状態である	・副作用が自制内で経過できる	
	活動・安静	・フリー		
	教育・説明	・化学療法に関して理解できる	・化学療法の副作用が理解できる	
1. 処置	点滴の針を入れます 入院時に体重、身長、体温、脈拍、血圧測定をおこないます	明日吐き気止めの点滴があるので、今日の予定が終わったら、針を抜くか入れたままでよいかをお知らせください 検温、血圧測定を適宜行います	朝の注射が終わって、退院が決定したら針を抜きます	
2. 与薬・点滴	20時に注射があります  	5時に注射があります 9時に注射があり、錠剤の薬を内服します 9時30分から薬の入った点滴が開始です(約3時間) 30分間吐き気止めの点滴をします 13時から2番目の薬の入った点滴が開始予定です  	朝吐き気止めの点滴が1本あります  	
3. 検査	採血があります 		採血があります 	
4. 食事	普通食(さわやか食を希望の時は申し出てください) 	病院食が基本ですが、治療中で吐き気があったり、食欲がない場合は、差し入れなど食べられるものを摂取してください		
5. 活動・安静	病院内は自由です 	治療中はベッドで過ごして下さい 今日ゆっくり安まれるほうがよいでしょう	病院内は自由です 	
6. 清潔	シャワー・入浴ができます 	点滴が終了してから針を抜くか、針のところをナイロンで保護して、シャワー・入浴して下さい	シャワー・入浴ができます  	
7. 説明・指導	入院された日の夜8時以降トイレで排尿する度にコップで尿量を測って下さい 夜に所定の用紙を配りますので、時間と尿量を記入して下さい 夜間の注射は、薬の副作用を軽減するためのものです 注射をすると下半身がくすぐったいような違和感が出現しますが、これは注射によるもので、しばらくするとなくなります 	点滴中は点滴台を押しながらトイレに行ってください。 尿の管を希望される方はお知らせ下さい 治療中は尿をしっかり出すことが重要ですので、水分摂取にこころがけて下さい 点滴開始前の注射と内服薬は、薬によって起こるアレルギー反応を予防するためのものです 薬によるアレルギー症状や異常の早期発見のために、点滴開始後しばらくは看護婦がそばについて血圧測定や状態観察を行います 1番目の薬はアルコールを成分としているため、点滴中や終了後にお酒を飲んだような症状が出現します(顔が赤くなる、体が熱くなる)	食事が800kcal以上摂取でき 採血結果がよければ 退院できます 	

注1. 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものである。

注2. 入院期間については現時点で予想されるものである。

注3. 絵文字(ピクト著作権/ Copyright (c) 2000 sawamura) は沢村デザイン研究所の寄贈による。

主治医

< 姫路赤十字病院 平成16年3月30日修正 >

平成 年 月 日

担当医

看護師